学校番号	T0110

平成３１年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション 英語Ⅱ	2	4	VISTA　English Communication Ⅱ［三省堂］

１．担当者からのメッセージ（学習方法とアドバイス）

これまで学んできたことの総仕上げです。これまでの文法事項を整理し、話す、書く、聞く、読む４技能をバランスよく身につけます。ペアワークや音読などを通じて、積極的に他者とコミュニケーションを行いながら、英語力を養います。分からない単語や表現が出てきたら、調べ、またそれを使う努力をしてください。

２．学習到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第４学年】履修科目「コミュニケーション英語Ⅱ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

①話すこと		②書くこと		③聞くこと		④読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・決まった表現や形式を用いて実物を示しながら、その物について簡単な説明をしたり、質問したり、答えたりすることができる	・会話練習 ・スピーキングテスト	・絵を見て、人や物の状態を簡単な英語で説明することができる。また、決まった形式の質問に対する答えを書くことができる	・課題 ・定期考査	・ゆっくりはっきり話された日常的な会話やアナウンスなどから必要なことがらを理解することができる	・会話練習 ・スピーキングテスト	・簡単な表現を使って書かれたまとまった物語や説明文、Ｅメールなどを理解することができる。	・定期考査

３．学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	外国語学習への関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
実施方法	外国語に関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	外国語を学ぶ際、言語を成立させている文化的背景に関心を持ち、理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
年度末に５段階で評価する。				

第４学年　普通科　コミュニケーション英語Ⅱ（２単位）　VISTA English CommunicationⅡ ［三省堂］						
学期	単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の 評価規準	評価方法
前期	Lesson 7 （8時間）	・ The Galapagos Islands（ガラパゴス諸島の状況について学習する内容） ・現在完了進行形 ・形式目的語 it	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			本文の内容に関心をもち、理解しようとする。	本文中に出てきた表現を用い、様々な場面を想定して実際に対話する。	積極的にコミュニケーション活動を行っている。	・会話練習 ・発表
			「外国語表現の能力」			
			現在完了進行形と形式目的語 it を理解し身近な事柄を表現する。	本文の音読。プリント教材等を利用し、現在完了進行形と形式目的語 it を用いて、身近な事柄を正確に表現する。	現在完了進行形と形式目的語 it を用いた表現ができる。	・プリント提出 ・発表 ・定期考査
			「外国語理解の能力」			
			本文の内容や現在完了進行形と形式目的語 it を用いた表現を正しく理解する。	英文を丁寧に読み解き、文全体の流れを把握する。	本文の内容や文法事項を理解している。	・プリント提出 ・定期考査
			「言語や文化についての知識・理解」			
			題材の歴史的文化的背景に関心を持ち、さまざまな人の営みを理解する。	補助プリントや視聴覚教材を用いて言語や文化についての理解を深める。	題材の背景を、自身にひきつけて理解している。	・プリント提出 ・発表 ・定期考査

前期	Lesson 8 （8時間）	・Shodo, Old and New （日本の伝統である書道の新たな試みについて学習する内容） ・部分否定 ・can be done	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			本文の内容に関心をもち、理解しようとする。	本文中に出てきた表現を用い、様々な場面を想定して実際に対話する。	積極的にコミュニケーション活動を行っている。	・会話練習 ・発表
			「外国語表現の能力」			
			部分否定と can be done を理解し身近な事柄を表現する。	本文の音読。プリント教材等を利用し、部分否定と can be done を用いて、身近な事柄を正確に表現する。	疑問文、現在進行形を用いた表現ができる。	・プリント提出 ・発表 ・定期考査
			「外国語理解の能力」			
			本文の内容や部分否定と can be done を用いた表現を正しく理解する。	英文を丁寧に読み解き、文全体の流れを把握する。	本文の内容や文法事項を理解している。	・プリント提出 ・定期考査
			「言語や文化についての知識・理解」			
			題材の歴史的文化的背景に関心を持ち、さまざまな人の営みを理解する。	補助プリントや視聴覚教材を用いて言語や文化についての理解を深める。	題材の背景を、自身にひきつけて理解している。	・プリント提出 ・発表 ・定期考査
後期	Lesson 9 （8時間）	・Water World （世界・日本の水族館の歴史・発展について学習する内容） ・関係代名詞の非制限用法 ・have been done	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			本文の内容に関心をもち、理解しようとする。	本文中に出てきた表現を用い、様々な場面を想定して実際に対話する。	積極的にコミュニケーション活動を行っている。	・会話練習 ・発表
			「外国語表現の能力」			
			関係代名詞の非制限用法と have been done を理解し身近な事柄を表現する。	本文の音読。プリント教材等を利用し、関係代名詞の非制限用法と have been done を用いて、身近な事柄を正確に表現する。	第３・４・５文型を用いた表現ができる。	・プリント提出 ・発表 ・定期考査
			「外国語理解の能力」			
			本文の内容や関係代名詞の非制限用法と have been done を用いた表現を正しく理解する。	英文を丁寧に読み解き、文全体の流れを把握する。	本文の内容や文法事項を理解している。	・プリント提出 ・定期考査
			「言語や文化についての知識・理解」			
			題材の歴史的文化的背景に関心を持ち、さまざまな人の営みを理解する。	補助プリントや視聴覚教材を用いて言語や文化についての理解を深める。	題材の背景を、自身にひきつけて理解している。	・プリント提出 ・発表 ・定期考査
	Lesson 10 （8時間）	・A Long Friendship （トルコと日本の関係が深まったきっかけについて学習する内容） ・過去完了形 ・強調構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			本文の内容に関心をもち、理解しようとする。	本文中に出てきた表現を用い、様々な場面を想定して実際に対話する。	積極的にコミュニケーション活動を行っている。	・会話練習 ・発表
			「外国語表現の能力」			
			過去完了形と強調構文を理解し身近な事柄を表現する。	本文の音読。プリント教材等を利用し、過去完了形と強調構文を用いて、身近な事柄を正確に表現する。	不定詞を用いた表現ができる。	・プリント提出 ・発表 ・定期考査
			「外国語理解の能力」			
			本文の内容や過去完了形と強調構文を用いた表現を正しく理解する。	英文を丁寧に読み解き、文全体の流れを把握する。	本文の内容や文法事項を理解している。	・プリント提出 ・定期考査
			「言語や文化についての知識・理解」			
			題材の歴史的文化的背景に関心を持ち、さまざまな人の営みを理解する。	補助プリントや視聴覚教材を用いて言語や文化についての理解を深める。	題材の背景を、自身にひきつけて理解している。	・プリント提出 ・発表 ・定期考査